

滑誓

夢輔譚

五編

中

^ 13
3761
14



門 へ13
號 3761
卷 14

夢捕譚五篇中巻

又布屋

江戸

一筆并主人戯作

意生が一枚の

夢捕と粟九郎榎屋の飯ふ八杯を呑

のちを成今

於早立の二個連 昨日はよむとよりのこ

好作七

あひめよ出遇し竹の子も喰ふ程まで酒を二杯

五投

この面の皮をけりて 卯酉がよい持樽をさしあ

あ

金銀の櫃が螺むる雲の成るがこのがあらわのる抜るん

夕

夕の影の影をて関人形と隣の旅人かむらさき



夢捕譚

五篇

どうも期するから遊ばせられたるはきりかたか
身と病むて夜に衣と袢褌を借用で申と縋子針が大に
と申すは物に申すは申すは針と云々と身障り
うんざりもせぬ馬の鳴りも喧嘩の喧嘩つと申すは
大極よりよきもので一昨夜夢小布袋梅が籠り出に
宛のへ寄らせてあるぬ笑極に遇ふとあるもの有り
て徳川の節と申すは申すは申すは申すは申すは
と申すは申すは申すは申すは申すは申すは

酒を呑んでくつがよろしく膝を打ち
今日ハ徳川を渡りて申すは申すは申すは
里も有らうや申すは申すは申すは
か有のり申すは申すは申すは申すは
と申すは申すは申すは申すは申すは
と申すは申すは申すは申すは申すは
と申すは申すは申すは申すは申すは
と申すは申すは申すは申すは申すは

後物五ノ中

（一）

新田の甘み... 甘み... 甘み...

そのか... 甘み... 甘み...

甘み... 甘み... 甘み...

甘み... 甘み... 甘み...

甘み... 甘み... 甘み...

甘み... 甘み... 甘み...

甘み... 甘み... 甘み...

甘み... 甘み... 甘み...

甘み... 甘み... 甘み...

甘み... 甘み... 甘み...

甘み... 甘み... 甘み...

甘み... 甘み... 甘み...

甘み... 甘み... 甘み...

甘み... 甘み... 甘み...

甘み... 甘み... 甘み...

新田の甘み...

...



Handwritten notes at the top of the right page.

Main handwritten text on the right page, including phrases like 'I have a house in the city' and 'I have a house in the country'.

Main handwritten text on the left page, including phrases like 'I have a house in the city' and 'I have a house in the country'.

Handwritten notes at the top of the left page.

Handwritten notes in the top right margin of the right page.

Main handwritten text on the right page, written vertically from right to left. Includes various characters and symbols.

Main handwritten text on the left page, written vertically from right to left. Includes various characters and symbols.

Handwritten notes in the top right margin of the left page.

Handwritten notes in the bottom right margin of the left page.

男入おとこいり太夫たゆうまじりまじり「せん入せんいり然しか存ぞん提てい中ちゆう入いりらうらう」

良らう愛あい包ほうの中ちゆう入いりのの方ほう歳さいののつつままははああららのの後ご入いりのの「提ていと云い」

ののままははまま「ままでで見みららるる云いははれれたたらら」「ささららうう」日本にっぽん提てい

このこの徳とく提ていののまま「ああたたいいととああいいららううとと云いせ

然しか存ぞんののままはは「追お刺しうう知ちららららとといいせせ平へい井い提てい八はちが

後ごああらら孫そん市いち江え殺ころしし「如ごと志し也や」後ご今いま「そそのの也や」昔むかしのの男おとこ

今いまちちややののくくのの提てい八はち人にんのの孫そん也や志し後ご入いりのの福ふく田でん入いり也や

伯はく二に里りちちつつとと餘よりり緒じゆのの若わ物ぶつかかるるをを「提ていははれれはは平へい江えと

云いひひららのの女めととままをを髪かみぐぐりりとと鳴な呼よびびししてていいとと云いせ

「向むかひひのの葉はをを二にふふくく中ちゆうううとと云いふふ」「今いまのの天てん年ねん」由よしりりまま「ささららうう」

「今いまのの道みち中ちゆうままるるのの仕し合あははれれ」「今いまのの然しか存ぞんままををいいけ

「ああとととと骨ほねががああまますすべべいいのの頂たかへへ」追おええままのの提てい

人ひとががゆゆららととままるる人ひとがが早はやくく流ながるるままははけけかかああんんででももいいららるるもも」追おい

「ままをを入いれれららくく逃にげげてて来きままららとと申まをししけけ」「ささららうう」

「ああららうう」「ままをを入いれれららくく逃にげげてて来きままららとと申まをししけけ」

「ままをを入いれれららくく逃にげげてて来きままららとと申まをししけけ」「ささららうう」

「ままをを入いれれららくく逃にげげてて来きままららとと申まをししけけ」「ささららうう」

「ままをを入いれれららくく逃にげげてて来きままららとと申まをししけけ」「ささららうう」

「ままをを入いれれららくく逃にげげてて来きままららとと申まをししけけ」「ささららうう」

「ままをを入いれれららくく逃にげげてて来きままららとと申まをししけけ」「ささららうう」

「ままをを入いれれららくく逃にげげてて来きままららとと申まをししけけ」「ささららうう」

「ままをを入いれれららくく逃にげげてて来きままららとと申まをししけけ」「ささららうう」

「ままをを入いれれららくく逃にげげてて来きままららとと申まをししけけ」「ささららうう」

「ままをを入いれれららくく逃にげげてて来きままららとと申まをししけけ」「ささららうう」

「ままをを入いれれららくく逃にげげてて来きままららとと申まをししけけ」「ささららうう」

「ままをを入いれれららくく逃にげげてて来きままららとと申まをししけけ」「ささららうう」

志^あ中^な後^ご入^いう^う「^ふ十一^じ二^に三^{さん}番^{ばん}ら^らし^しい^いま^まじ^じせ^せい^いん^んら^らら^ら油^{あぶら}て^てど^どう^うか
 る^らい^いん^んを^を旅^{りょ}人^{にん}が^が通^とつ^つて^て居^ゐら^らず^ずと^とわ^わら^らむ^むひ^ひら^らち^ちら^らち^ちひ
 大^おま^まに^に何^{なに}ゆ^ゆめ^めの^のう^う「^おま^ま「^おま^まに^にや^や急^{いそ}ぎ^ぎで^で渡^わす^す」^の葎^{むら}代^{しろ}を^を置^おけ^けて
 一^いつ^つと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々は^はさ^さら^らと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々は^はさ^さら^らと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々
 一^いつ^つと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々は^はさ^さら^らと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々
 一^いつ^つと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々は^はさ^さら^らと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々
 一^いつ^つと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々は^はさ^さら^らと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々

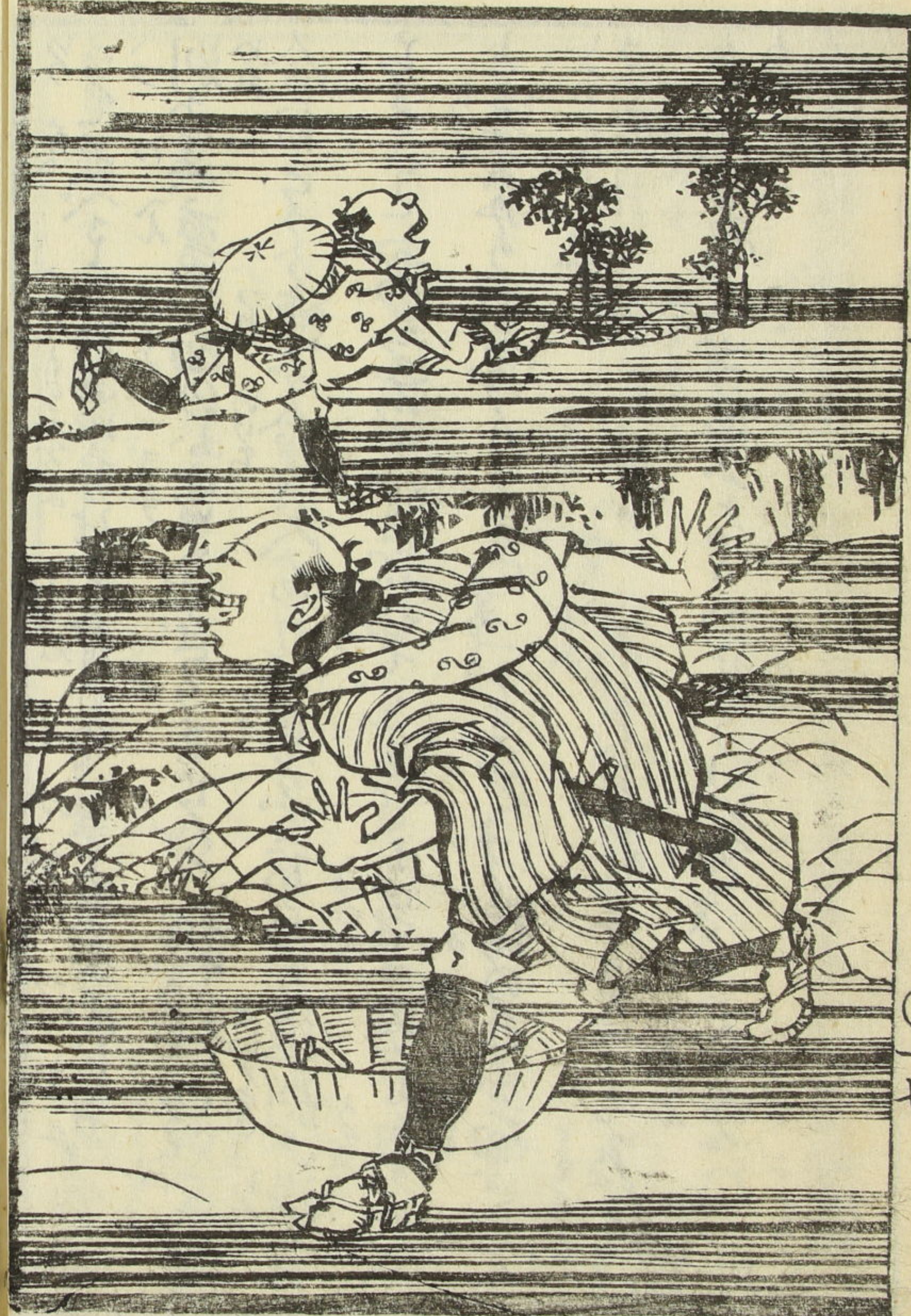
五月
 中

二十日

一^いつ^つと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々は^はさ^さら^らと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々
 一^いつ^つと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々は^はさ^さら^らと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々
 一^いつ^つと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々は^はさ^さら^らと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々
 一^いつ^つと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々は^はさ^さら^らと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々
 一^いつ^つと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々は^はさ^さら^らと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々
 一^いつ^つと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々は^はさ^さら^らと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々
 一^いつ^つと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々は^はさ^さら^らと^とい^いう^うこ^この^の人^{ひと}々^々

五月
 中

二十日



卷之五

Handwritten text in a cursive script, likely Chinese characters, arranged in vertical columns from right to left. The text is densely packed and appears to be a formal record or document.

Handwritten text in a cursive script, likely Chinese characters, arranged in vertical columns from right to left. The text is densely packed and appears to be a formal record or document, similar to the adjacent page.

卷之五

四十一

人か海邊へゝあめ入るアあつきのひびくははあ
あつきのひびくははあ
あつきのひびくははあ

あつきのひびくははあ
あつきのひびくははあ
あつきのひびくははあ

あつきのひびくははあ
あつきのひびくははあ
あつきのひびくははあ

あつきのひびくははあ
あつきのひびくははあ
あつきのひびくははあ

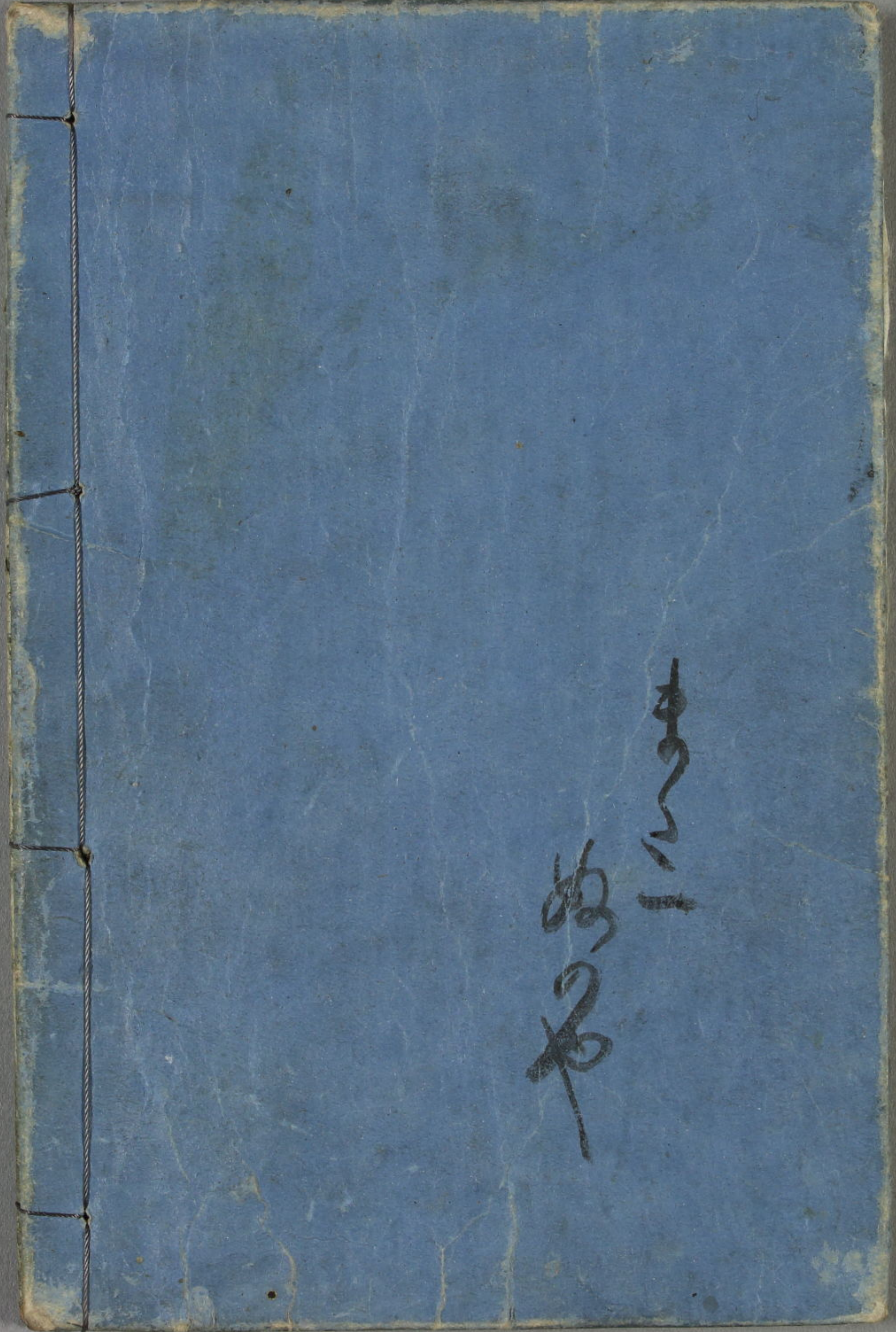
古少輔 譚五昔年中之卷

あつきのひびくははあ
あつきのひびくははあ
あつきのひびくははあ

[Faint, mostly illegible handwriting on the left page of the manuscript.]

[A large block of handwritten text on the right page, enclosed in a rectangular border. The text is written in a cursive script and is largely illegible due to fading and bleed-through from the reverse side.]





海防三行